

号外

琉球新報

THE RYUKYU SHIMPO

検定意見撤回を

「集団自決」は軍強制

県民大会で総意訴え



文部科学省の教科書検定意見撤回を求め、県民大会に結集した数万人の市民＝29日午後、宜野湾海浜公園

文部科学省の高校歴史教科書検定で沖縄戦における「集団自決」(強制集団死)の日本軍強制の記述が削除・修正された問題で、「教科書検定意見撤回を求める県民大会」(同実行委員会主催)が二十九日午後三時から、宜野湾市の宜野湾海浜公園で始まった。

一般市民や団体、労働組合、経済界など県内外から数万人が集まり、会場を埋め尽くした。八重山、宮古でもこれと連動した大会が同時刻に開かれた。大会では、日本軍による命令・強制・誘導などの記述を削除・修正する教科書検定意見の撤回と、記述回復を求める大会決議を採択する。

大会は「歴史の真実をそのまま次の世代へ伝えることが日本を正しく歩ましめるなどとする県民へのアピール」を、諸見里宏美県PTA連合会会長が宣言して開幕した。

仲里利信実行委員長(県議会議長)は「不退换の決意で教科書検定意見の撤回を求めていくことをここに誓う」と述べた上で、「軍命による『集団自決』だったのか、あるいは文科省の言う『自ら進んで死を選じた』と殉国美談を認めるかが問われている大会だ。今こそ全県民が一丸となって立ち上がり、教科書から沖縄戦における軍隊による強制の削除に断固ノ一と叫ぼう」と呼び掛けた。

仲井真弘多知事は「集団自決の日本軍の関与については、当時の教育を含む時代状況の総合的な背景や手りゅう弾が配られるなどの証言から覆い隠すことのできない事実である」と述べ、文科省の検定意見の速やかな撤回を重ねて要求した。

この後、中山勲県教育委員会委員長、翁長雄志県市長会長、高校生代表の津嘉山拓大さん(読谷高校三年)、照屋奈津美さん(同)、小渡ハル子、玉寄哲永両実行副委員長、照屋仁土県青年団協議会会長があいさつ。渡嘉敷島の「集団自決」の生き残りの吉川嘉勝さんと、座間味島の「集団自決」証言者の宮平春子さん(代読)が発言した。

大会詳細はあすの琉球新報朝刊をお読みください。

軍民混在 投降許さず

肉親同士がかりやが... 手榴弾を配り、自決命令... 軍民混在 投降許さず

「集団自決」なぜ起きた 手榴弾配り「自決命令」

住民に強要した日本軍は、野蠻な米軍兵に... 手榴弾を配り、自決命令... 軍民混在 投降許さず

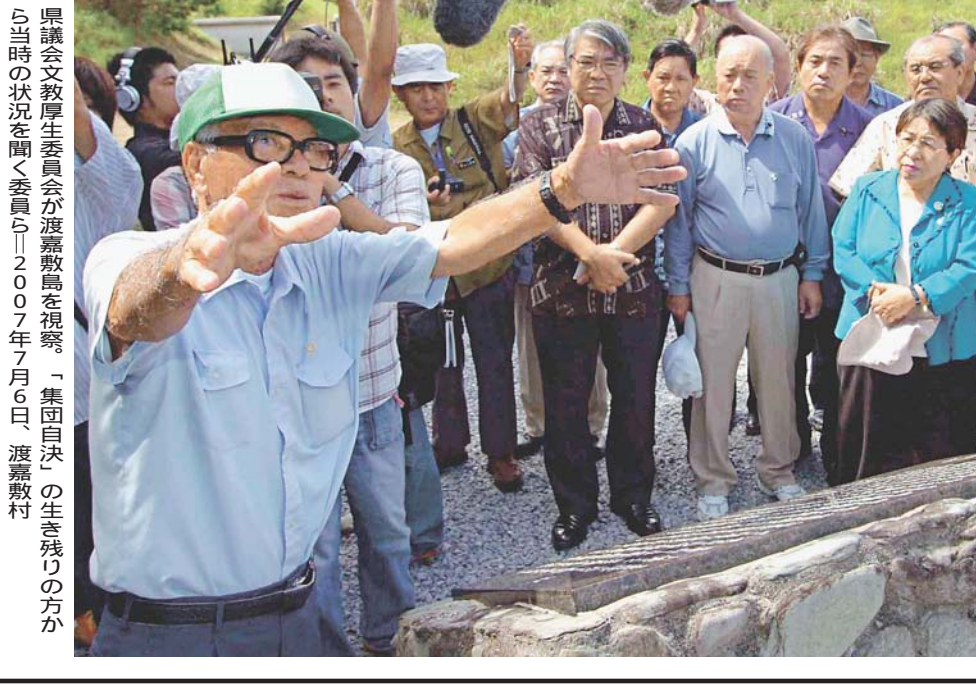


「集団自決」を強要した米軍兵に抵抗した住民。手榴弾を配り、自決命令... 軍民混在 投降許さず

県内自治体の決議 全41議会が初回の2度可決

県議会が初回の2度可決... 全41議会が初回の2度可決... 県内自治体の決議

「全41議会が初回の2度可決」... 県内自治体の決議... 全41議会が初回の2度可決



定章集約会を再び可決した。同日、検定意見の撤回を求め県議会に可決の意思を示した。議会の強い意志をあらためて示した。

各地で悲劇

軍が「死」強要

愛する肉親を手にかけて、自らも命を絶った... 軍が「死」強要... 各地で悲劇

「子」の首に縄かける... 伊江村... 各地で悲劇

「布団」に火黒煙モオーツ... 談谷村... 各地で悲劇

「日本軍から手榴弾」... うるま市... 各地で悲劇

「家族を殺しほうぜん」... 沖繩市... 各地で悲劇

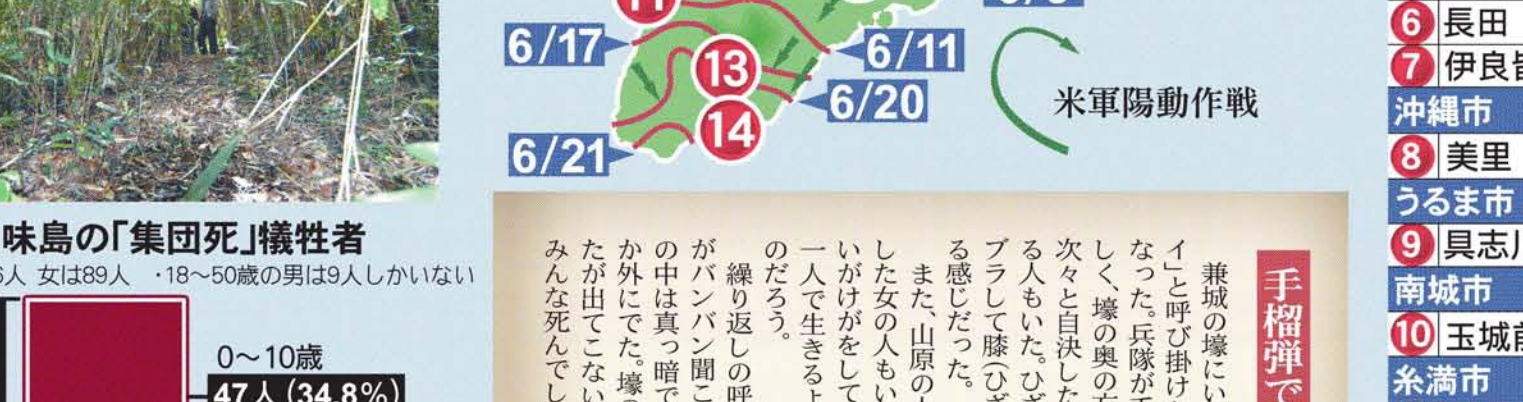
「ゴボウ剣で背中から」... 渡嘉敷村... 各地で悲劇

「首にカニソリ、血の海」... 座間味村... 各地で悲劇

「一人残るのはこわい」... 座間味村... 各地で悲劇

「首にカニソリ、血の海」... 座間味村... 各地で悲劇

「住民の主な「集団自決」の場所と日本軍の動き」... 伊江島飛行場... 各地で悲劇



「手榴弾でも死にきれず」... 糸満市... 各地で悲劇

「首にカニソリ、血の海」... 座間味村... 各地で悲劇

「一人残るのはこわい」... 座間味村... 各地で悲劇

Table with 3 columns: 教科書検定による「集団自決」の記述変更 (Changes in textbook descriptions), 申請前の記述 (Original descriptions), 修正後 (Revised descriptions). Rows include publisher names like 山川出版社 and 東京書籍.

「検定本こう変わった」... 教科書検定による「集団自決」の記述変更... 申請前の記述... 修正後

「主語消え、住民自発と誤解」... 教科書検定による「集団自決」の記述変更... 申請前の記述... 修正後

「関係者の語録」... 教科書検定による「集団自決」の記述変更... 申請前の記述... 修正後

「県民感情を考え、より慎重に取り扱わねば」... 渡海文科相... 関係者の語録

「修正と言った途端にパンドラの箱を開ける」... 伊吹前文科相... 関係者の語録

「首にカニソリ、血の海」... 座間味村... 関係者の語録

「一人残るのはこわい」... 座間味村... 関係者の語録

「首にカニソリ、血の海」... 座間味村... 関係者の語録



早々と大会会場に詰め掛けた大勢の参加者—29日午後2時すぎ、宜野湾海浜公園



「史実歪曲(わいぎょく)は許さない」との決意を胸に、会場入りした家族連れ—29日午後0時40分ごろ、宜野湾海浜公園



バスを利用し、会場に続々と駆け付ける県民大会参加者—29日午後1時20分ごろ、宜野湾海浜公園



「平和の火」をもちたい手を手に走る中学生ら29日午前糸満市



杖(つえ)をつき会場を訪れたお年寄り29日午後1時ごろ、宜野湾海浜公園

大会決議文

砲弾の豪雨の中へ放り出され
自決せよと強いられ
死んでいった沖繩人の魂は
怒りをもって再びこの島の上を
さまよっている

いまだ砲弾が埋まる沖繩の野山に
拾われない死者の骨が散らばる
泥にまみれて死んだ魂を
正義の戦争のために殉じた
偽りをいっぺん

歴史の真実をそのまま
次の世代へ伝えることが
日本を正しく歩みしめる
歪められた教科書は
再び戦争と破壊へと向かう

沖繩戦の死者の怒りの声が
聞こえないか
大和の政治家・文科省には届かないか
届かなければ 聞こえないければ
生きていく私たちが声を一つにして
押し上げ 訴えよう

県民へのアピール

去る三月三十日、文部科学省 地上戦を体験し、一般県民を含
は、平成二十年度から使用され む多くの尊い生命を失い、筆舌
の高等学校教科書の検定結果を に尽くしがたい犠牲を強いられ
公表したが、沖繩戦における た県民にとっても、今回の削除
「集団自決」の記述について、 修正が到底容認できるもので
沖繩戦の実態について誤解す はないこと、怒り
るおそれのある表現である」と 示し、そのうねりは県内全体を
の検定意見を付し、日本軍によ 揺るがす力となつて、沖繩県議
る命令・強制・誘導等の表現を 会での二度の意見書決議、四十
削除・修正させている。 一の市町村議会全ての意見書決
その理由として同省は、「日 議へと結びつき、さらには県内
本軍の命令があつたか明らかで 起り得なかつたことが紛れも
はない」ことや、「最近の研究 で文部科学省へ要請するなど、
成果で軍命はなかつたという説 県民が一丸となつて取り組む結
がある」ことなどを挙げている 果となつた。

これに対し、文部科学省は
「教科用図書検定調査審議会が 決定することであり、理解して
に起り得なかつたことは紛れ いたしたい」との回答に終始
もない事実であり、今回の削除 し、検定意見の撤回と、集団自
・修正は体験者による数多くの 証言を否定し歪曲しようとし
るものである。

このため、これまで口を閉ざ した、今回の教科書検定に際
しては多くの体験者が子供た 合否の方針や検定意見の内容を
ちに誤った歴史を教えることの 取りまわるとして同審議会に諮
危機感から、辛い体験や真実を 問われていること、諮問案の取り
また、去る大戦で国内唯一の まとめには係争中の裁
を求め、県民大会実行委員会、

判を理由にし、かつ、一方の当
事者の主張のみを取り上げてい
ること、同審議会では「集団自
決」の議論が全くなされてい
ないこと、新たな事実が
相次いで判明したにもかかわらず、依然として対応を改めよ
うとしていない。

教科書は未来を担う子供たち
に真実を伝える重要な役割を担
っている。だからこそ、子供た
ち、沖繩戦における「集団自
決」が日本軍による関与なしに
起り得なかつたことを正しく
伝える、沖繩戦の実相を教訓とす
ることの重要性、平和を希求
することの必要性、悲惨な戦争
を再び起こさないようにするた
めにはどうすればよいかなど
を教えることは、我々に課
せられた重大な責務である。

よって、沖繩県民は、本日
の県民大会において、県民の総意
として国に対し今回の教科書検
定意見が撤回され、「集団自
決」の記述の回復が直ちに行われ
よう決意する。

平成十九年九月二十九日
九・一九教科書検定意見撤回
を求める県民大会実行委員会